

実施計画名	福岡大学発“FUスポまちコンソーシアム”の実働によるマルチスポーツの普及・振興モデル ～リアルスポーツとeスポーツの融合による多世代・多様な体験機会の創出～
事業概要	<p>福岡大学発【Well-beingな福岡健幸まちづくり2025】～スポーツで誰もがとにもあつまり、つながり、はぐくむまちづくり～</p> <p>『福岡大学インクルーシブスポーツフェスタ2025』の開催</p> <p>①多世代型週末マルチスポーツ体験講座の開催(5回) 小学生、中学生、高校生、大学生、社会人 計40人 多世代・多種目・多志向型講座の開催</p> <p>②大学周辺地域住民対象マルチスポーツ出前講座(福岡市城南区内全11公民館対象)の開催(3回)</p> <p>高齢者のフレイル予防講座とeスポーツ講座の融合、世代間交流機会の創出、高齢者の社会参加促進、健康維持増進</p> <p>③共生社会実現型マルチスポーツ普及・体験イベントの開催、共生社会実現型マルチスポーツ（eスポーツ含む）の普及・体験イベントの開催(合計4回)</p> <p>福岡市福祉局との連携による新講座開催(1回)、学内障がい者スポーツイベントとの融合(2回)、企業対抗運動会との融合(1回)</p> <p>障がい者、不登校・発達障がい児童生徒へのマルチスポーツ体験機会の創出、社会人向けスポーツ大会(福利厚生、健康増進、社内親睦、障がい者雇用促進)</p> <p>④地元プロチームの応援促進とeスポーツ体験機会の創出(地元プロチームホーム戦イベント、企業連携サッカー教室とeスポーツ親子体験会の融合)</p> <p>プロ選手とのふれあい、リアルスポーツ教室と親子参加型eスポーツ体験イベントの同日開催(地元プロチームファン、サポーター層の拡大)</p>

■対象地域が抱える課題

対象地域	福岡市
<ul style="list-style-type: none"><li>急激な人口増加に伴う、スポーツインフラの慢性的不足、週末地域クラブの未成熟</li><li>高齢者人口の割合増加に伴うフレイル予防策の具体的な展開事例が少ない</li><li>多世代交流の機会不足、多様なマルチスポーツ参加機会や場の不足</li><li>市内eスポーツ専用体験施設の認知度が低い、市内eスポーツ専用施設の活用促進</li><li>リアルスポーツや健康づくり教室とeスポーツの融合イベントの運営ノウハウが不足</li><li>共生社会実現へ向けたeスポーツの活用に関する先行事例の不足</li><li>地域スポーツを支えるサポーターの不足</li><li>福岡市城南区は市内7区中で最も高齢化率が高く、介護予防に注力しているが健康講座の新規参加者数の伸び悩みや地域活動の担い手不足等の課題がある。</li></ul>	

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）



■具体的なプログラム・活用する大学スポーツ資源

『福岡大学インクルーシブスポーツフェスタ2025』	
①多世代交流型マルチスポーツ体験講座(eスポーツを含む)の定期開催(計5回) 10月～11月	対象：市内小学生、中学生、高校生、大学生、社会人(計40人)講師3人×5回 場所：大学内スポーツ施設、教室、市内eスポーツ専門施設 (esports Challenger's Park by QTNet) 大学スポーツ資源：施設、人(教員、学生、職員)、研究成果、専門的知財
②大学周辺地域住民向けマルチスポーツ出前講座(3回) 9月～11月	対象：市内高齢者(65歳以上)30名程度、各公民館(11施設)館長・主事対象 場所：城南区内公民館、大学内施設 大学スポーツ資源：施設、人(教員、学生、職員)、研究成果、専門的知財
③共生社会実現型マルチスポーツ普及・体験イベントの開催(4回) 9月～12月	・福祉局とのコラボ企画(障がい者スポーツセンターでのeスポーツ体験会) 1回 ・大学内施設でのバラスポーツ大会(サッカー・バスケ)とマルチスポーツイベントの融合 2回 ・大学内施設での企業対抗運動会(リアルスポーツ)とeスポーツ種目の融合1回 対象：一般市民、大学生、障がい者、高齢者 合計500名程度 場所：福岡大学スポーツ施設、福岡市立障がい者スポーツセンター施設等 大学スポーツ資源：施設、人(教員、学生、職員)、研究成果、専門的知財
④地元プロチームとのふれあい、リアルスポーツ教室と親子参加型eスポーツ体験イベント開催(2回)	ライジングゼファーフクオカホーム戦会場イベント、アビスパ福岡選手とのふれあいスポーツ教室との融合 対象：小学生200人(家族同伴)、プロチーム公式戦来場者、プロチームサポーター 場所：福岡大学サッカー場、大学内教室、福岡市総合体育館照葉積水ハウスアリーナ 大学スポーツ資源：施設、人(教員、学生、職員)、研究成果、専門的知財

■期待される事業結果・効果

・講座イベントの参加者満足度…80%以上
・eスポーツへの認知度・理解度向上…90%以上
・講座、イベント総参加者数…延べ1,000人超
・多世代参加型イベント達成度…10代～80代全世代参加
・高齢者の気分高揚満足度80%以上、障がい者の気分高揚満足度80%以上
・公民館主催スポーツ、健康教室参加者数増への貢献…例年の平均参加者数+5人増
・地域全体での横展開モデルの構築実績…城南区内全11公民館中6公民館(達成率54%以上)
・各公民館での健康イベントの自走化と参加者数の増加…10%増 担い手育成5人以上